

# 第3回 伊勢市バリアフリーマスタープラン策定協議会

**【説明資料】** まち歩き現地確認の結果とバリアフリーマスタープランの基本方針

## 【目次】

1. まち歩き現地確認の概要 .....	- 1 -
2. まち歩き現地確認のまとめ .....	- 2 -
3. 課題の確認 .....	- 9 -
4. 伊勢市のバリアフリーマスタープランの理念と目標 .....	- 15 -

令和2年 2月6日



## 1. まち歩き現地確認の概要

### (1) 現地確認の概要

前回の第2回伊勢市バリアフリーマスタープラン策定協議会の結果を踏まえ、本市の移動等円滑化促進地区の候補地区である「伊勢市・宇治山田駅周辺」及び「二見浦駅周辺」でまち歩き現地確認を行いました。

#### ■現地確認の概要

	伊勢市・宇治山田駅周辺	二見浦駅周辺
日時	12月19日(木) 9:30～	12月23日(月) 13:30～
参加者	合計：32名 策定協議会メンバー：14名 随行者：4名 アドバイザー：2名 事務局：10名	合計：31名 策定協議会メンバー：14名 随行者：5名 アドバイザー：2名 事務局：11名
場所	ルート1 伊勢市駅周辺 ルート2 宇治山田駅周辺	ルート1 二見浦駅周辺 ルート2 二見興玉神社周辺
確認項目	『移動が不便だと思ふ』 『移動する際に危険だ』と思ふ箇所	『移動が不便だと思ふ』 『移動する際に危険だ』と思ふ箇所

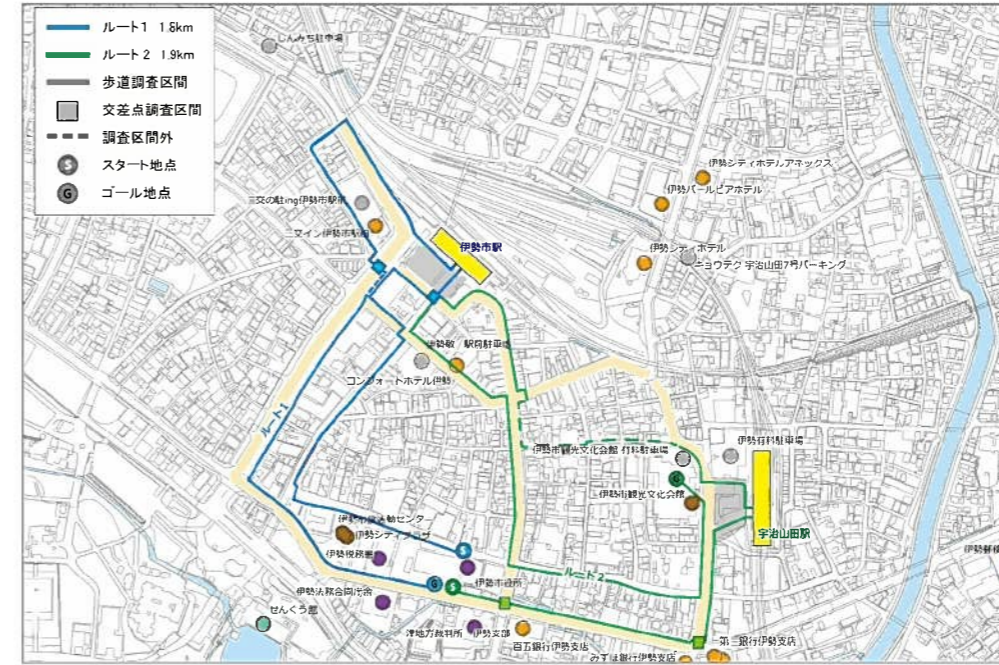
#### ■確認項目の詳細

項目	チェックポイント	
歩道	舗装	ひび割れ、凹凸、勾配など
	幅員	すれ違いのしやすさ、車イスでの通りやすさなど
	段差	車イスが利用しにくい段差の有無
	視覚障害者誘導用ブロック	誘導用ブロックの有無
	排水施設	側溝のフタの有無、グレーチングの目の細かさ、隙間やがたつき
交通安全施設	その他	駐車場出入口の安全性、障害物の有無
	信号機	音響式信号機の有無
	横断歩道	横断歩道前後の段差や勾配
	その他	

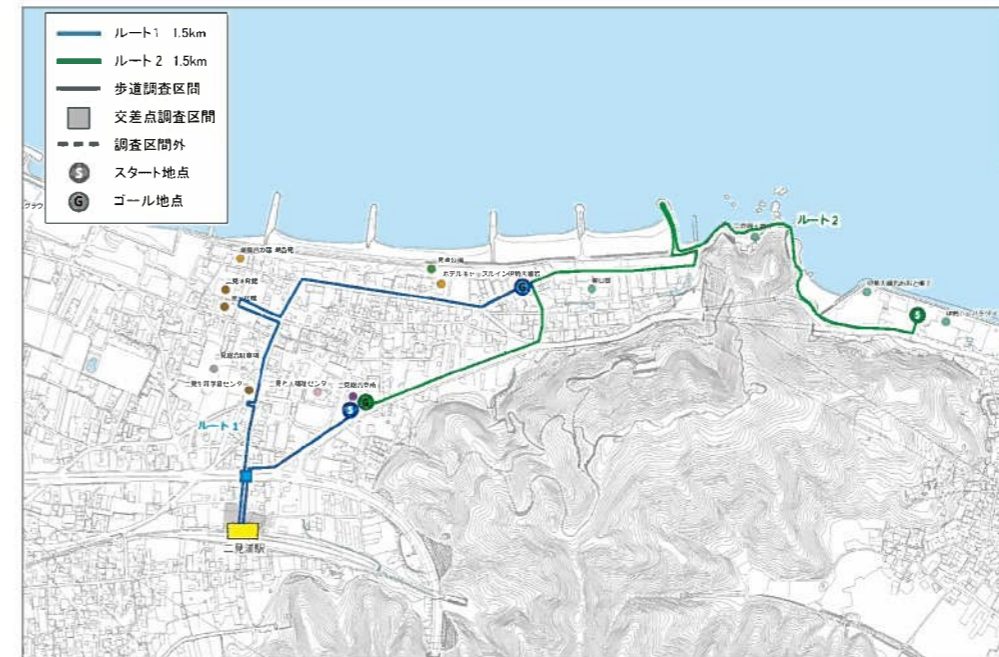
### (2) 現地確認対象ルート

現地確認を行ったルートは下記の通りです。

#### ■伊勢市・宇治山田駅周辺



#### ■二見浦駅周辺

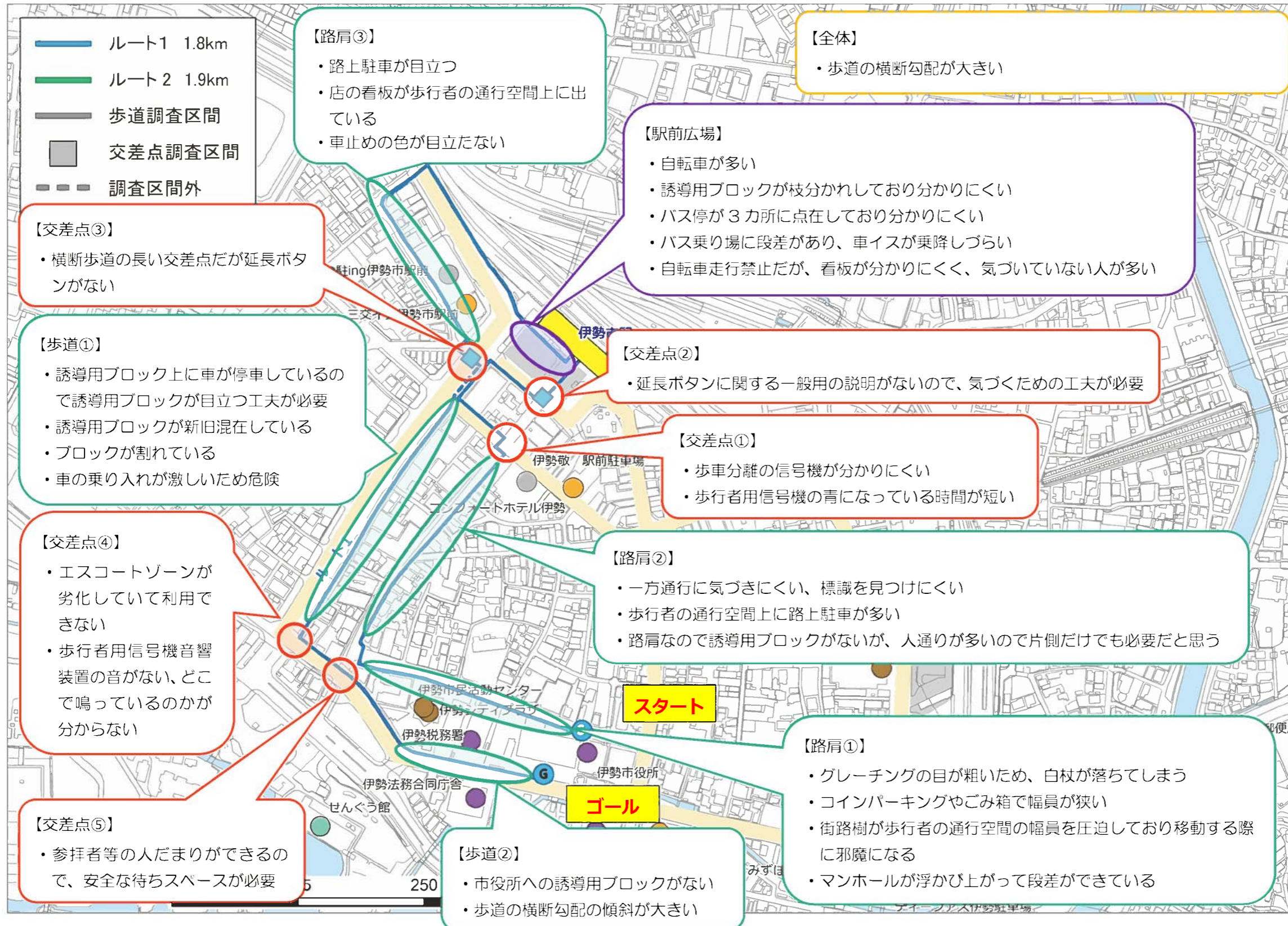




## 2. まち歩き現地確認のまとめ

### (1) 伊勢市駅周辺

伊勢市駅周辺のまち歩き現地確認で把握した問題点などの意見まとめは下記の通りです。





# 伊勢市駅

のりかえ案内 ⇒ ホーム → JR線ホーム 3分

※ホーム中央部から他社線の最寄駅改札口までの標準時分を表示しています。



**【階段】**

- ・階段の終点手前から手すりがあり、使い勝手が良い

**【スロープ】**

- ・スロープの位置が分かりにくい

**B 班ゴール**

(→南口まで移動)

**【連絡通路】**

- ・通路が長い  
(歩きたくなる工夫が欲しい)

**【トイレ】**

- ・トイレの位置が奥まわっていて気づきにくい

**スタート**

**【エレベーター】**

- ・エレベーターの表記をJRと同じく1F、2Fの表記で統一させるべき  
(現在：連絡通路とホーム)

**【連絡通路】**

- ・通路の矢印が小さくて薄い

**【階段】**

- ・手すりに点字がある
- ・両端の段端にシール有 (中央部にはない)

**鳥羽方面**

**【ホーム】**

- ・内方線がない
- ・ホームの傾斜が大きい

**松阪・名古屋方面**

**【エレベーター】**

- ・エレベーターの位置が裏手で分かりにくい

**【料金表】**

- ・券売機が車いすから見えづらい (高さ、角度の問題)

**【トイレ】**

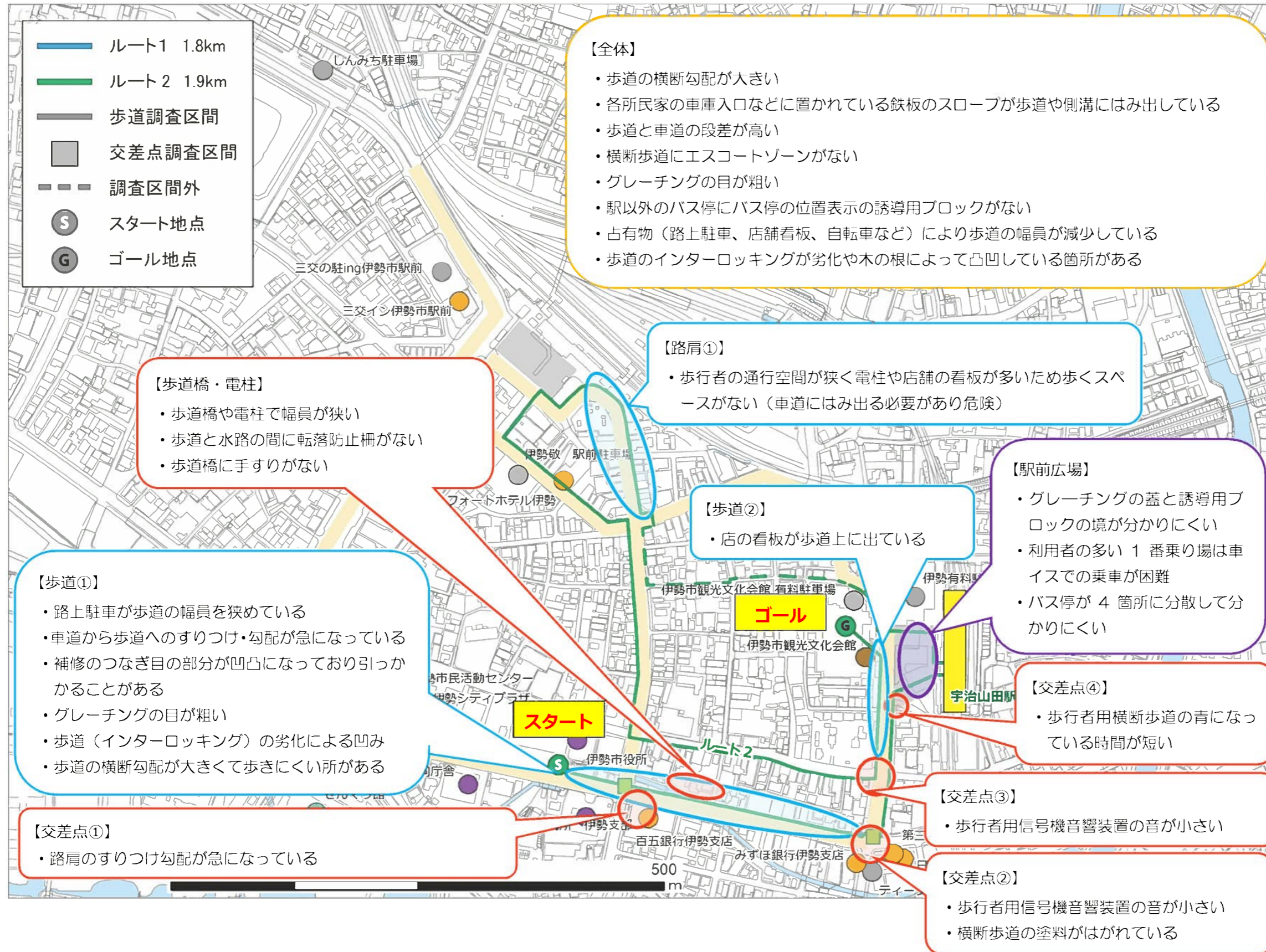
- ・多機能トイレのドアにビニールカーテンなどがあると助かる  
(視覚障がい者などは開け閉めが大変)
- ・男性トイレの手すりが手前に欲しい

**A 班ゴール**



## (2) 宇治山田駅周辺

宇治山田駅周辺のまち歩き現地確認で把握した問題点などの意見まとめは下記の通りです。





# 宇治山田駅

TEL 0596(28)2767



1F・2F・3F

## 【エレベーター】

- ・エレベーターが狭いので方向転換ができない  
(バックで出る必要がある)

近鉄名古屋・  
京都・  
大阪難波方面

## 【待合所】

- ・待合室の引き戸が重たい

## C 班ゴール

(→入口まで移動)

## 【エレベーター】

- ・エレベーターが狭いので方向転換  
ができない  
(バックで出る必要がある)

## 【階段】

- ・階段の手すり中央に点字がない

## 【出入口】

- ・自動ドアが1箇所しかないので混み合っている

## 【ホーム】

- ・柱と階段壁との間が狭く、車イスだと通りにくい

## 【ホーム】

- ・柱と階段壁との間が狭く、車イスだと通りにくい

## D 班ゴール

(→入口まで移動)

## 【料金表、券売機】

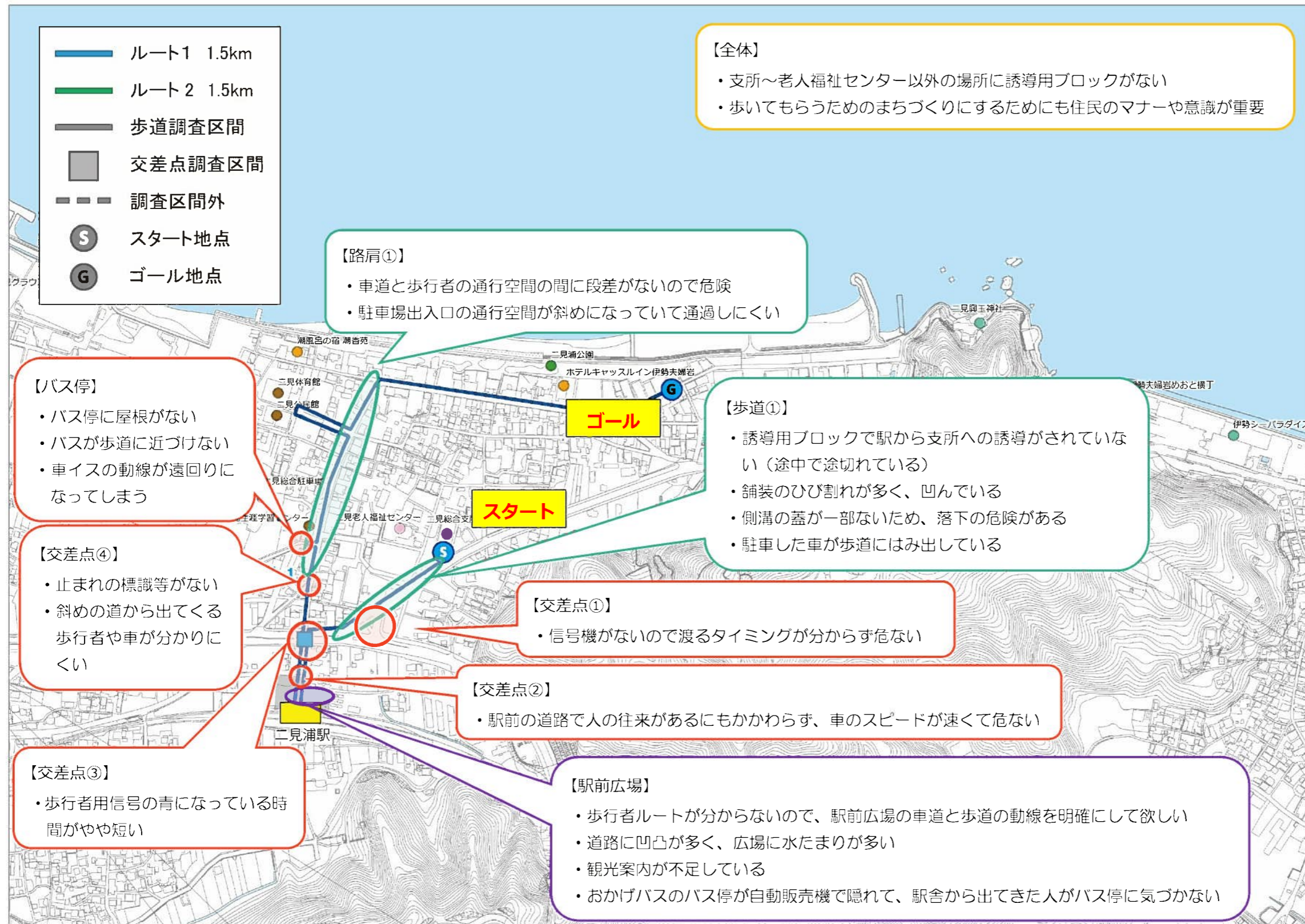
- ・料金表の字が小さい
- ・券売機の蹴込みがもう少しあった方がよい
- ・有人の切符売り場に車イス用の蹴込みがない
- ・目が不自由な人は券売機(タッチ式)は使いにくいのではないかと
- ・券売機が高く、車イスだと届かない





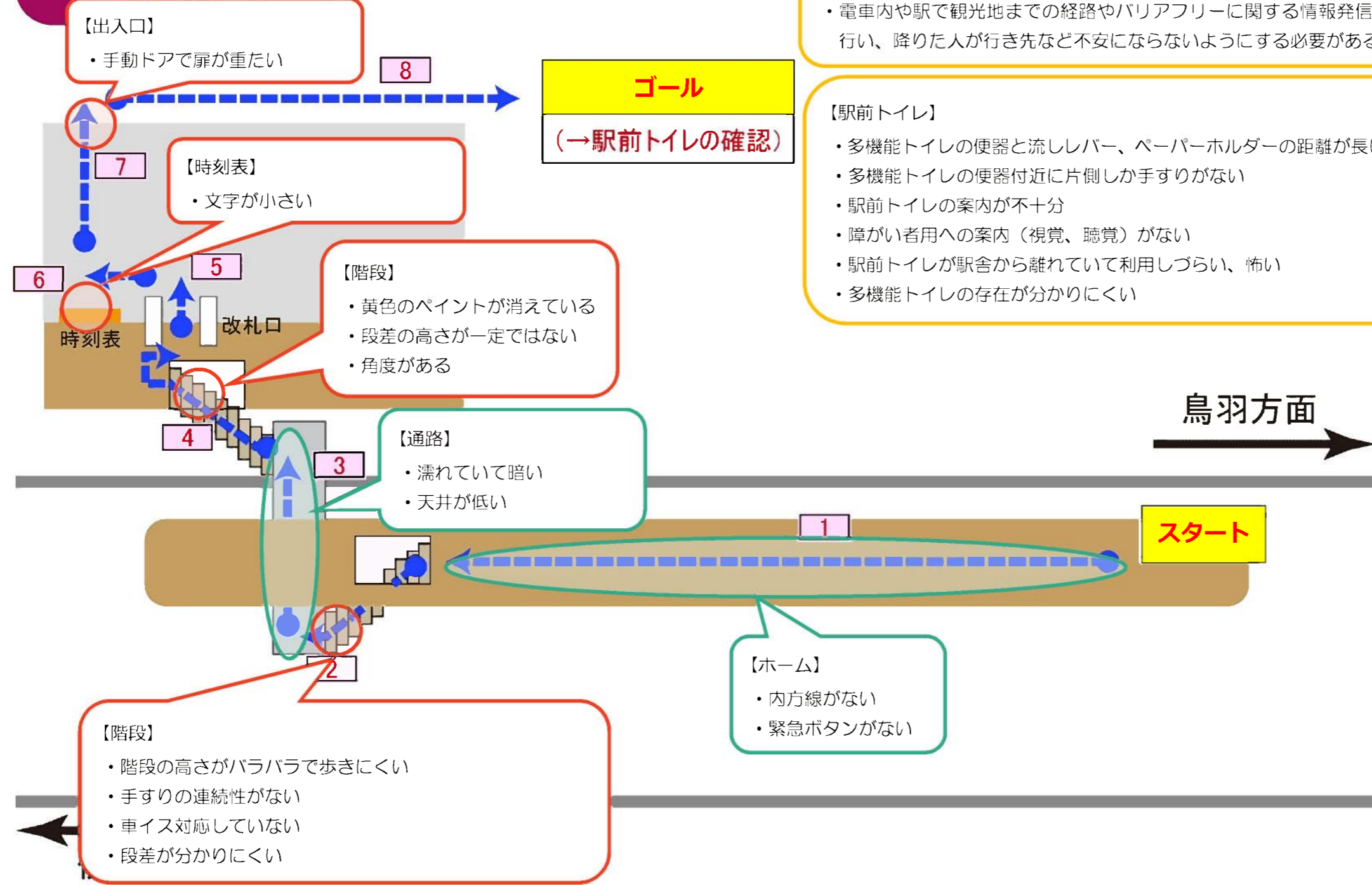
### (3) 二見浦駅周辺

二見浦駅周辺のまち歩き現地確認で把握した問題点などの意見まとめは下記の通りです。





# 二見浦駅



【出入口】  
・手動ドアで扉が重たい

【時刻表】  
・文字が小さい

【階段】  
・黄色のペイントが消えている  
・段差の高さが一定ではない  
・角度がある

【通路】  
・濡れていて暗い  
・天井が低い

【階段】  
・階段の高さがバラバラで歩きにくい  
・手すりの連続性がない  
・車イス対応していない  
・段差が分かりにくい

ゴール  
(→駅前トイレの確認)

【全体】  
・駅舎に観光地らしいものがない  
・電車内や駅で観光地までの経路やバリアフリーに関する情報発信を行い、降りた人が行き先など不安にならないようにする必要がある

【駅前トイレ】  
・多機能トイレの便器と流しレバー、ペーパーホルダーの距離が長い  
・多機能トイレの便器付近に片側しか手すりがない  
・駅前トイレの案内が不十分  
・障がい者用への案内（視覚、聴覚）がない  
・駅前トイレが駅舎から離れていて利用しづらい、怖い  
・多機能トイレの存在が分かりにくい

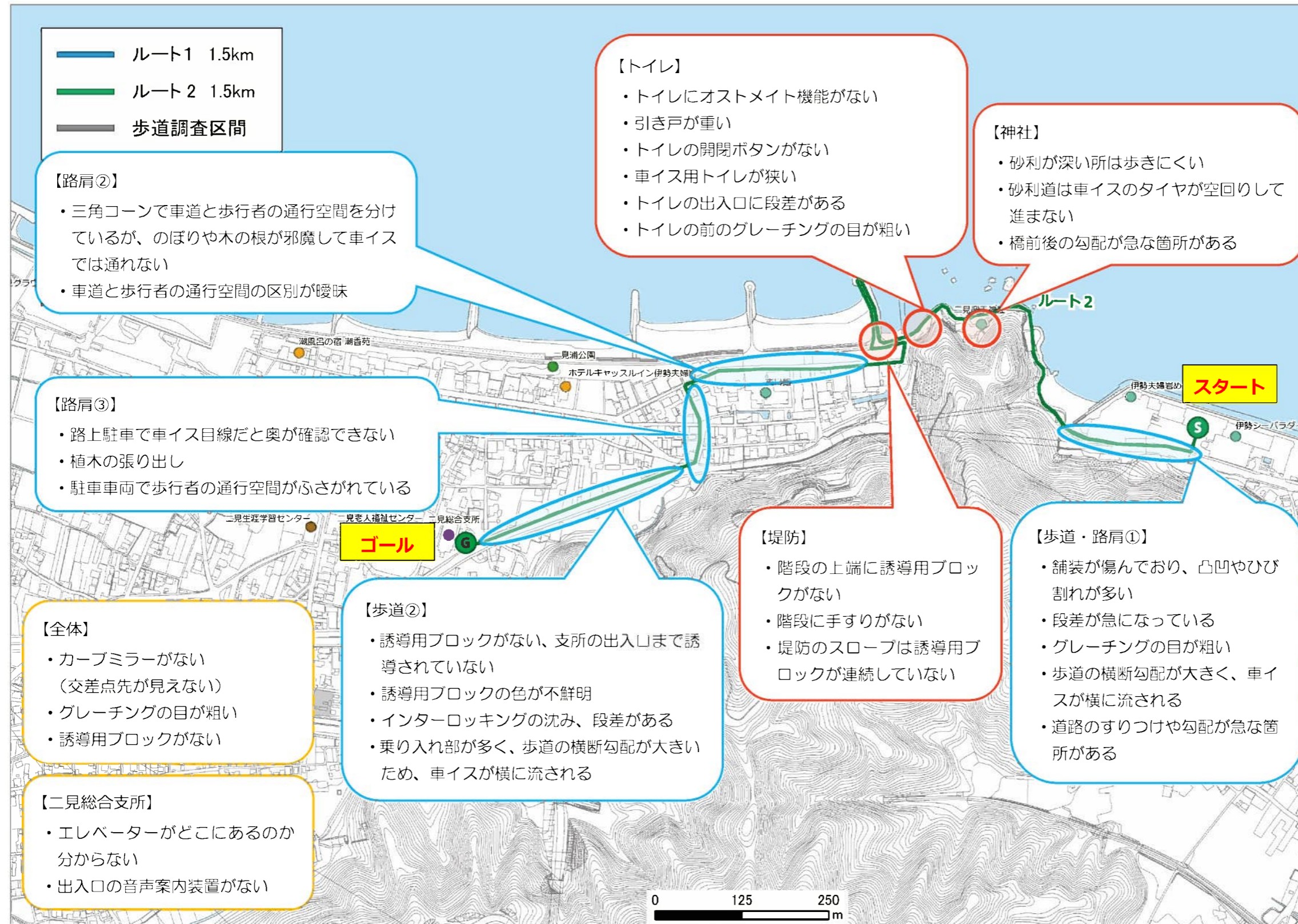
【ホーム】  
・内方線がない  
・緊急ボタンがない

スタート

鳥羽方面

#### (4) 二見興玉神社周辺

二見興玉神社周辺のまち歩き現地確認で把握した問題点などの意見まとめは下記の通りです。





### 3. 課題の確認

#### (1) 現況整理のまとめと問題点の抽出

前回の第2回伊勢市バリアフリーマスタープラン策定協議会で示した現況整理のまとめを基に、伊勢市の現況に関する課題の確認を行いました。

人口 障がい者数	人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口は1985(昭和60)年以降減少傾向にあり、2015(平成27)年時点では約13万人を下回っている。</li> <li>2045(令和27)年には約10万人まで減少する。</li> </ul>	
	年齢別人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>15歳未満(年少人口)、15～64歳(生産年齢人口)が1985(昭和60)年以降減少傾向にある。</li> <li>65歳以上(老年人口)は増加傾向にあり、高齢化率も同じく増加傾向にある。</li> </ul>	
	障害者等手帳 所持者の推移	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者等手帳の所持者は年々増加傾向にある。</li> <li>身体障害者手帳の所持者は減少しており、療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者は増加傾向にある。</li> <li>等級別では1級で増加傾向にあり、その他の等級は横ばいもしくは減少傾向にある。また、所持者数は1級が最も多く、次いで4級と3級が多い。</li> <li>部位別では内部障がいが増加傾向にあり、その他の部位は横ばいもしくは減少傾向にある。また、肢体障がいが増加傾向にあり、次いで内部障がいが多い。</li> </ul>	
都市施設の 立地状況	駅別立地状況一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢市内の生活関連施設候補の立地状況として、市内の中心地である「伊勢市駅周辺」「宇治山田駅周辺」に官公庁や商業施設が集中している。</li> <li>観光に関連する施設は「伊勢市駅周辺」「宇治山田駅周辺」「五十鈴川駅周辺」「二見浦駅周辺」などに集積している。</li> </ul>	
観光動態	伊勢市観光客数の推移	<ul style="list-style-type: none"> <li>2005(平成17)年から増加傾向にあり、伊勢神宮(外宮・内宮)の参拝者は概ね800万人前後の横ばいで推移しており、式年遷宮のあった2013(平成25)年、その次年の2014(平成26)年では1,000万人を超えている。</li> <li>伊勢神宮の車イス利用台数は2010(平成22)年から微増傾向にある。</li> </ul>	
	宿泊容量メッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢神宮(外宮)を最寄りとする伊勢市駅(JR・近鉄)ならびに二見興玉神社を最寄りとする二見浦駅周辺において、宿泊容量が大きい。</li> </ul>	
	主要施設の観光客入込数	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢神宮(外宮・内宮)及びその周辺が最も多い。</li> <li>その他に観光客の多い地域として、河崎、二見浦周辺がある。</li> </ul>	
公共交通	鉄道・駅	乗客数の推移	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR線の鉄道乗客数は伊勢市駅が最も多く、増加傾向にある。次いで多い駅は五十鈴ヶ丘駅、宮川駅、二見浦駅である。また、近鉄線の鉄道乗客数は宇治山田駅が最も多く、2013(平成25)年をピークに減少傾向にある。次いで多い駅は伊勢市駅で増加傾向にある。</li> </ul>
		乗降客数	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢市駅(JR・近鉄)が最も多く、次いで宇治山田駅である。また、その他の駅では明野駅、五十鈴川駅で1日あたりの平均乗降客数が2,000人を超えている。</li> </ul>
	バス	路線バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスで最も利用の多い路線は外宮内宮線で、次いで御座線、CANバスが多い。</li> </ul>
		コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>おかげバスの辻久留・藤里ルートの利用者数が最も多く、次いで東大淀・日赤ルート、二見ルートが多くなっている。</li> <li>おかげバスデマンドでは栗野ルート、小木・田尻ルートで約1,000人以上の利用があり、沼木バスは買い物用が最も多い。</li> </ul>
		1日あたりの バス停別乗降客数	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢神宮(内宮)の最寄りバス停である「内宮前」が最も多く、2,000人/日以上である。</li> <li>次いで、伊勢市駅・宇治山田駅の最寄りバス停である「宇治山田駅前」「伊勢市駅前」が1,000人/日以上である。</li> </ul>
道路	広域道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の道路の約83.5%が市道となっており、そのうち約6.0%にあたる62,628mが未舗装である。</li> </ul>	
	都市計画道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路は、29路線、計81,304mが計画されており、約76.9%(62,553m)が整備済みである。</li> </ul>	

問題点	<b>高齢化社会に向けた対応</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少社会</li> <li>高齢化率の増加</li> <li>障害者等手帳所持者の増加</li> </ul>	<b>来訪者に向けた対応</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者は増加傾向</li> <li>伊勢神宮の車イス利用者は増加</li> <li>伊勢神宮周辺や河崎、二見浦地域に観光客が集中</li> </ul>	<b>駅のバリアフリー化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢市駅、宇治山田駅で乗降客数が最多</li> <li>明野駅、五十鈴川駅で1日あたりの平均乗降客数が2,000人以上</li> </ul>	<b>バスのバリアフリー化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>内宮前バス停、宇治山田駅前バス停、伊勢市駅前バス停などで1日あたりの平均乗降客数が1,000人以上</li> </ul>
-----	--	---	--	---

## (2) 住民アンケートのまとめと問題点の抽出

前回の第2回伊勢市バリアフリーマスタープラン策定協議会で示した住民アンケートのまとめを基に、伊勢市のバリアフリーに関する課題の確認を行いました。

### 【住民アンケート概要】

○全体の回収数（回収率）

回収数：計 1,863 通/配布数：計 4,600 通（約 40.5%）

○配布返信期間

2019年9月1日～9月14日（※地域によって配布日時が異なる場合がある）

○対象者

障がい者（障害者等手帳所持者<sup>※1</sup>）、高齢者（65歳以上）、子育て世代（5歳以下の子供を持つ世帯<sup>※1</sup>）、一般（左記以外<sup>※1</sup>）

※16歳以上の市民が対象

住民 アンケート	外出の頻度と 主な外出先	・外出の頻度はいずれも高く、週1日以上外出する人が大半を占めており、主な外出先の最寄り駅は「伊勢市駅」「宇治山田駅」周辺が多くなっているが、駅周辺以外の場所の利用も多い。
	主な交通手段	・自動車による移動が主な交通手段ではあるが、徒歩や自転車等による移動も多い。鉄道の主な乗降駅は「伊勢市駅」「宇治山田駅」「五十鈴川駅」など市内の主要駅が多い。
	主な外出の目的	・主な外出の目的としては、買い物や通院、公共機関や銀行、郵便局などへ外出することが多くなっている。障がい者と高齢者は通院のために外出する人の割合が全体の5割強と高く、子育て世代は、上記に加えて子育て施設への外出が多い。
	移動する際に不便だと 感じたこと	・移動をする際に不便だと感じたことについて、「通路がせまい」「凸凹や段差がある」「ベンチ等の休憩施設が少ない」が共通して多く、加えて障がい者と子育て世代からは「バス停やタクシー乗り場・駐車場まで通路に屋根がない」が多い。
	外出時に手助けが 必要だと感じたこと	・外出時に手助けが必要だと感じたことについて、障がい者、高齢者は「見た目では分からない障がいを理解してほしい」が最も多く、「乗り物などで席を譲ってほしい」「移動で困っているときに声をかけてほしい」「障がい衝動からくる行動を見守ってほしい」が多くなっている。一方で高齢者については、上記に加えて「手助けが必要と感じたことはない」も多い。子育て世代については、「乳幼児を連れていく際には配慮してほしい」が突出して多くなっている。
	バリアフリーに関する行動	・バリアフリーに関する行動（一般向けアンケートのみの質問項目）について、「扉を開けるのを手伝う」「乗り物などで席を譲る」「エレベーターを譲る」が多くなっている。
	バリアフリーのまちづくりに 向けて必要だと思うこと	・バリアフリーのまちづくりに向けて必要だと思うこととして、「バリアフリーへの教育や意識向上」「自転車利用のマナー向上」「店舗等の意識向上」「職員等の対応スキルの向上」「情報提供」が共通して多くなっている。加えて、高齢者は「地域での声かけ運動」、子育て世代は「交流の機会をつくる」も多くなっている。
	市が実施しているバリアフリー に関する取組の認知度	・市が実施しているバリアフリーに関する取組の認知度としては、いずれも約半数が質問にある4つの取組のうち少なくとも一つは知っていると回答しており、中でも伊勢おもてなしヘルパーと障害者サポーター制度は知っているとの回答が比較的多くなっている。

問題点	<b>施設のバリアフリー化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な外出の目的は買い物や通院、公共機関や銀行、郵便局、子育て施設への用事等</li> <li>・主な目的地の最寄り駅は伊勢市駅や宇治山田駅周辺</li> </ul>	<b>通行空間の改良</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通路の幅員や道路の凹凸、段差</li> <li>・ベンチ等の休憩施設の有無</li> <li>・バス停やタクシー乗り場での屋根の有無</li> </ul>	<b>情報提供・周知活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーに関する情報提供</li> <li>・市などで実施しているバリアフリーに関する取組の周知</li> </ul>	<b>心のバリアフリーへの意識</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見目で分からない障がいの理解や、移動時の手助け・声かけの必要性</li> <li>・バリアフリーの教育や意識向上</li> </ul>



### (3) 事業者・関係団体ヒアリングのまとめと問題点の抽出

前回の第2回伊勢市バリアフリーマスタープラン策定協議会で示した事業者・関係者のまとめを基に、伊勢市のバリアフリーに関する課題の確認を行いました。

#### 【関係団体ヒアリング概要】

##### ○対象

交通事業者：4団体（近畿日本鉄道（株）、東海旅客鉄道（株）、三重交通（株）、三重県タクシー協会伊勢志摩支部）

その他関係団体：1団体（伊勢志摩バリアフリーツアーセンター）

市民団体等：7団体（伊勢身体障害者協和会、小俣町身体障害者協会、二見身体障害者福祉会、伊勢市聴覚障害者福祉協会、伊勢市手をつなぐ親の会、伊勢市肢体不自由児・者父母の会、伊勢市老人クラブ連合会）

##### ○ヒアリング期間

2019年8月中旬～9月中旬

##### ○ヒアリング内容

交通事業者：バリアフリー化整備の状況や障がい者等への対応、取組など

その他関係団体、市民団体等：移動等における困難さなど

事業者 ヒアリング	鉄道事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢市駅や宇治山田駅など市の主要な駅でバリアフリー化が実施されているが、その他の駅ではバリアフリーが未対応の箇所がある。</li> <li>公共交通移動等円滑化基準省令に基づく施設整備の他、筆談による対応や従業員研修を実施している。</li> <li>五十鈴川駅は2019(令和元)年度から2020(令和2)年度までの期間に、伊勢市交通バリアフリー基本構想に基づきバリアフリー化工事を実施する。</li> <li>エレベーターやエスカレーターなどの整備費用、維持更新に関する費用が事業を進める上で課題となっている。</li> </ul>
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>約2/3の車両が公共交通移動等円滑化基準省令に適合した車両であり、その内ノンステップバスは約半数を占める。</li> <li>公共交通移動等円滑化基準省令に基づく施設整備の他、障がい者、高齢者の対応マニュアルの用意や、運転手による補助を実施している。</li> <li>2019(令和元)年度に伊勢営業所管内でノンステップバスを3台導入予定である。</li> <li>事業を進める上での課題として、全てのバスがノンステップバスやバリアフリーに対応しているわけではないので、どうしても時間や路線によってはバリアフリーに対応していないバスになることもある。</li> </ul>
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉対応やバリアフリー対応の車両はないが、車イスの貸出や運転者による車イスの格納や障がい者、高齢者の介助を実施している。</li> </ul>

問題点	<p><b>旅客施設などのバリアフリー化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一部の駅やバス車両はバリアフリー未対応</li> <li>タクシー車両はバリアフリー未対応</li> <li>整備費用や維持更新に関する費用の高騰</li> </ul>
-----	--

伊勢志摩 バリアフリー ツアーセンター	市内の主要な 観光地や観光施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能トイレは複数の障がいに対応できるよう機能が備わっているが、設置数が少ないため、異なった障がいを持った複数の方が一度に利用できない。 (例:高齢者の方が多機能トイレを使用中はオストメイトを利用したい方は利用できない、など)</li> <li>・異性介助の視覚障がい者とLGBT用のトイレも必要になってくる。(多機能トイレを男女どちらでも利用できるようにすることが必要)</li> <li>・思いやり駐車場や車イス対応駐車場がキャパオーバーになってきている。</li> <li>・以前に整備した箇所の補修や現行の法令基準の引き上げ改修などの対応が曖昧になっている。</li> </ul>
	観光地周辺の移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内が分かりにくい、距離が分からないためどの程度進む必要があるのかが分かりにくい。</li> <li>・道路を整備しても違法駐車や店舗の入り口の段差など依然としてバリアが存在している。</li> </ul>
	市内のバリアフリー対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪天候などで当初の予定がダメになった場合の代替案の提供(リロード)が不足している。</li> <li>・トイレや駐車場が利用できなかった場合にどこを利用すればいいのかなどの情報提供・伝達手段が重要である。</li> </ul>
肢体・身体 障がい者団体	駅・鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーターの位置案内や手すりの有無・位置、駐車場からの経路など移動経路に関する点や、トイレなどの設備面など。</li> <li>・電車とホームの段差や隙間など(つまづくなど危険を感じる)。</li> <li>・車両内の車イス用スペースのそばに介助者の席がないことや、狭い通路の車イスでの移動など。</li> <li>・駅へ向かう際の踏切の隙間が大きく、車イスや杖が溝にはまる。</li> <li>・電車の乗車待ちをしている際に一般の人からジロジロ見られる、ホーム上で転んでも誰も声をかけてくれないなどの一般利用者の気遣い・マナー。</li> </ul>
	バス停・バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上屋やベンチがないため、バス待ち時間が不便なこと、車イス対応のバスにいつ乗れるかが分からないこと。</li> </ul>
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー乗車時や車内のコミュニケーション(目的地の伝達など)を行う際に、時折、対応の悪いドライバーの人がいる。</li> <li>・夜間の配車待ち時間が長い。</li> </ul>
	市内のバリアフリー対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の凸凹や段差が大きい、また通路幅が狭いので歩きにくい。</li> <li>・歩道や誘導用ブロック上に違法駐車があるなど一般利用者の駐車マナーが悪い。</li> </ul>
視覚障がい者団体	駅・鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動経路の分かりづらさ、タッチ式・センサー式のトイレや券売機(障がいの種別によっては利用が難しい)など。</li> <li>・誘導用ブロックによる案内の分かりづらさや、普段と乗車位置が異なる電車での乗り降りが難しい。</li> <li>・多機能トイレを休憩室代わりに使う人がいるなどマナーに関する問題や、転落防止に関する対策が不十分である。</li> </ul>
	バス停・バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅からバス停へ向かう所に誘導用ブロックがない場所があることや、誘導用ブロックによる乗降位置案内が分かりにくい場所がある。</li> </ul>
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーが利用できる時間に合わせて行動しないといけない。</li> </ul>
	市内のバリアフリー対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誘導用ブロックの整備が途中で終わっている箇所や、車道よりも歩道が高くなっているマウントアップの歩道が多く、勾配になっている箇所が多い。</li> </ul>
聴覚障がい者 団体	駅・鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切符を買うために駅員を呼び出す必要があることや、エレベーターにモニターがないため、緊急時のコミュニケーションが取れない。</li> <li>・電車が遅れた際の情報提供や伝達手段や車内での情報を入手する手段がない。</li> </ul>
	バス停・バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停やバス車両内で情報を得る手段がないため、遅延情報や今どこを走っているかなどの情報が分からない。</li> <li>・雨風をしのぐための上屋などがバス停にない。</li> </ul>
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転手相手にコミュニケーションをとることに苦勞する。</li> </ul>
	市内のバリアフリー対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話を知っている人、できる人が少ない点、コンビニなどにサインボードを作って配布したが、利用しているコンビニが少ないなど。</li> </ul>



知的障害者 父母の会	駅・鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーターの有無や、エレベーターの場所の分かりやすさなど移動上の問題や、トイレ・時刻表や運賃表の高さなどの施設面など。</li> <li>トイレの中に車イス用のトイレがあると、他の人と一緒に並ぶ必要がある</li> <li>改札口の幅や混雑時に知的がい者が利用しやすい専用レーン整備の有無、乗降位置の明示など。</li> <li>車両内の車イス用のスペースに、車イスをロックするような装置が欲しい。</li> <li>駅員等に気軽に相談できる方法や環境が少ない。</li> </ul>
	バス停・バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停で、バスの時間や乗り継ぎ、乗り換えの手段、時間などが分かりにくいことや、バス停周辺は安全に待機できるスペースが少ない。</li> <li>車イス対応のバスにいつ乗れるかが分からない。</li> </ul>
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間の配車が少なく、車イス対応のタクシーが少ない。</li> </ul>
	市内のバリアフリー対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道の街灯や植え込みなど歩道上の障害物、車が乗り入れるために傾斜になっているなど。</li> </ul>
高齢者団体	駅・鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーターの有無や階段の幅・間隔など。</li> <li>無人駅での乗車券の対応や、誘導用ブロックの歩きづらさ、階段の幅など。</li> <li>電車とホームの段差や隙間、目的地への最短ルートなどに関する情報提供手段など。</li> </ul>
	バス停・バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停の分かりやすさや上屋の有無、バス運行に関する情報提供が少ない。</li> <li>バス車両に乗る際の段差や、目的地までの情報提供が少ない。</li> </ul>
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内バスがない夜間などにタクシーが使えず、利用できたとしても時間がかかる。</li> </ul>
	市内のバリアフリー対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>車イスで観光に来た高齢者でも分かりやすいような案内が必要である。</li> <li>レンガで整備された歩道は、木の根や老朽化の凸凹で転倒しやすい。また、杖がレンガの溝に挟まりやすい。</li> </ul>

問題点	<b>既存設備の改良</b>	<b>旅客施設や道路などのバリアフリー化</b>	<b>当事者視点に合わせた改良</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前に整備した箇所の補修や現行の法令基準への引き上げ改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームと列車の隙間や駐車場からの経路</li> <li>エレベーターやエスカレーターの有無</li> <li>道路上の段差や凸凹、誘導用ブロックの有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘導用ブロックでの誘導案内</li> <li>道路の勾配や傾斜の改修、舗装の老朽化</li> <li>障がいの種類に合わせた施設整備</li> </ul>
	<b>提供する情報の充実</b>	<b>情報提供手段の確保</b>	<b>住民マナーの改善や向上</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすい情報提供の充実</li> <li>当初の予定（旅先、トイレ、駐車場など）がダメになった場合の代替案の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>列車や駅構内、バス乗車中の情報提供</li> <li>コミュニケーション手段の確保</li> <li>緊急時の情報の入手方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道上の路上駐車、施設利用のマナー</li> <li>気軽に相談できる環境</li> <li>障がいに対する理解</li> </ul>

#### (4) まち歩き現地確認のまとめと問題点の抽出

まち歩き現地確認を行った結果を踏まえて、下記のように各地域の課題の確認を行いました。

伊勢市駅周辺	移動経路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から市役所などの公共施設、外宮などの主要な観光施設までの経路上に視覚障害者誘導用ブロックが整備されておらず、植え込みやグレーチングの目、歩道の劣化による段差など移動上障害物となるものが存在している。</li> <li>・歩道上に店舗の看板や路上駐車が多く、視覚障害者誘導用ブロックや、歩道を塞ぐバリアとなっている。</li> <li>・公共交通を利用する際に、駅までの経路やバス停の位置などが煩雑になっており分かりにくい状況である。</li> <li>・横断歩道の長い交差点であって延長ボタンがない箇所や横断歩道の線が消えている箇所、エスコートゾーンの無い交差点が多いなど、歩行者が安心して横断できる交通安全施設が十分ではない状況である。</li> </ul>
	駅舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通移動等円滑化基準省令に基づきバリアフリー化されている駅ではあるが、障がい者や車イス利用者などにとって一部使用しづらい箇所が散見される。</li> </ul>
宇治山田駅周辺	移動経路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から市役所などの公共施設までの経路上に視覚障害者誘導用ブロックが整備されているが、色や形が混在し、また、歩道上に店舗の看板や路上駐車が多いため、視覚障害者誘導用ブロックや、歩道を塞ぐバリアとなっている。</li> <li>・グレーチングの目や電柱、歩道橋、歩道の劣化による段差など移動上障害物となるものが存在している。</li> <li>・歩道上のバス停で位置表示の誘導用ブロックがないバス停が多く、駅前広場ではバス停の位置が複雑になっているなど、公共交通に関する情報が分かりにくい状況である。</li> <li>・横断歩道の線が薄い箇所や歩行者横断を占めず音が小さい箇所、エスコートゾーンの無い交差点が多いなど、歩行者が安心して横断できる交通安全施設が十分ではない状況である。</li> </ul>
	駅舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通移動等円滑化基準省令に基づきバリアフリー化されている駅ではあるが、障がい者や車イス利用者などにとって一部使用しづらい箇所が散見される。</li> </ul>
二見浦駅周辺	移動経路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から総合支所などの公共施設、二見浦公園などの主要な観光施設までの経路上に視覚障害者誘導用ブロックが整備されておらず、植え込みやグレーチングの目、歩道の劣化による段差など移動上障害物となるものが存在している。</li> <li>・歩道上の路上駐車が多く、視覚障害者誘導用ブロックや、歩道を塞ぐバリアとなっている。</li> <li>・公共交通を利用する際に、駅までの経路(歩行者動線)やバス停の位置などが分かりにくい状況である。</li> <li>・横断歩道の線が薄い箇所や一時停止線ない交差点など、歩行者が安心して横断できる交通安全施設が十分ではない状況である。</li> </ul>
	駅舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎やトイレが十分にバリアフリー化されておらず、障がい者や車イスの方の利用が困難な状況である。</li> <li>・駅から観光地までの経路や観光地としての情報提供が不足している。</li> </ul>
二見興玉神社周辺	移動経路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設同士を結ぶ経路や総合支所までの経路上に視覚障害者誘導用ブロックが整備されておらず、植え込みやグレーチングの目、歩道の劣化による段差など移動上障害物となるものが存在している。</li> <li>・歩道上に店舗の看板や路上駐車が多く、視覚障害者誘導用ブロックや歩道を塞ぐバリアとなっている。</li> <li>・歩行者の通行空間と自動車の通行空間が混在しており、歩行者が安心して通行できる歩行者空間の確保が十分ではない状況である。</li> <li>・市内でも主要な観光施設である二見興玉神社は、車イスの利用が困難であり、それに関するバリアフリー情報や移動ルートの提供などが不足している。</li> </ul>
	総合支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーターの位置が分からず、総合庁舎の出入口の音声案内装置がない。</li> </ul>

問題点	<b>旅客施設や道路などのバリアフリー化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二見浦駅のバリアフリー未対応</li> <li>・誘導用ブロックの整備や道路の凹凸、段差、エスコートゾーンの有無</li> </ul>	<b>当事者視点に合わせた改良</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装や誘導用ブロックの劣化</li> <li>・道路の傾斜や勾配</li> <li>・歩行空間の明確化</li> </ul>	<b>移動情報・観光情報の提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停の位置や二次交通の情報提供</li> <li>・観光地までの経路情報</li> <li>・バリアフリー対応に関する事前情報</li> </ul>	<b>住民マナーの改善</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道上の路上駐車</li> <li>・歩道上の店舗看板</li> <li>・民家の車庫入口にある鉄板のスロープ</li> </ul>

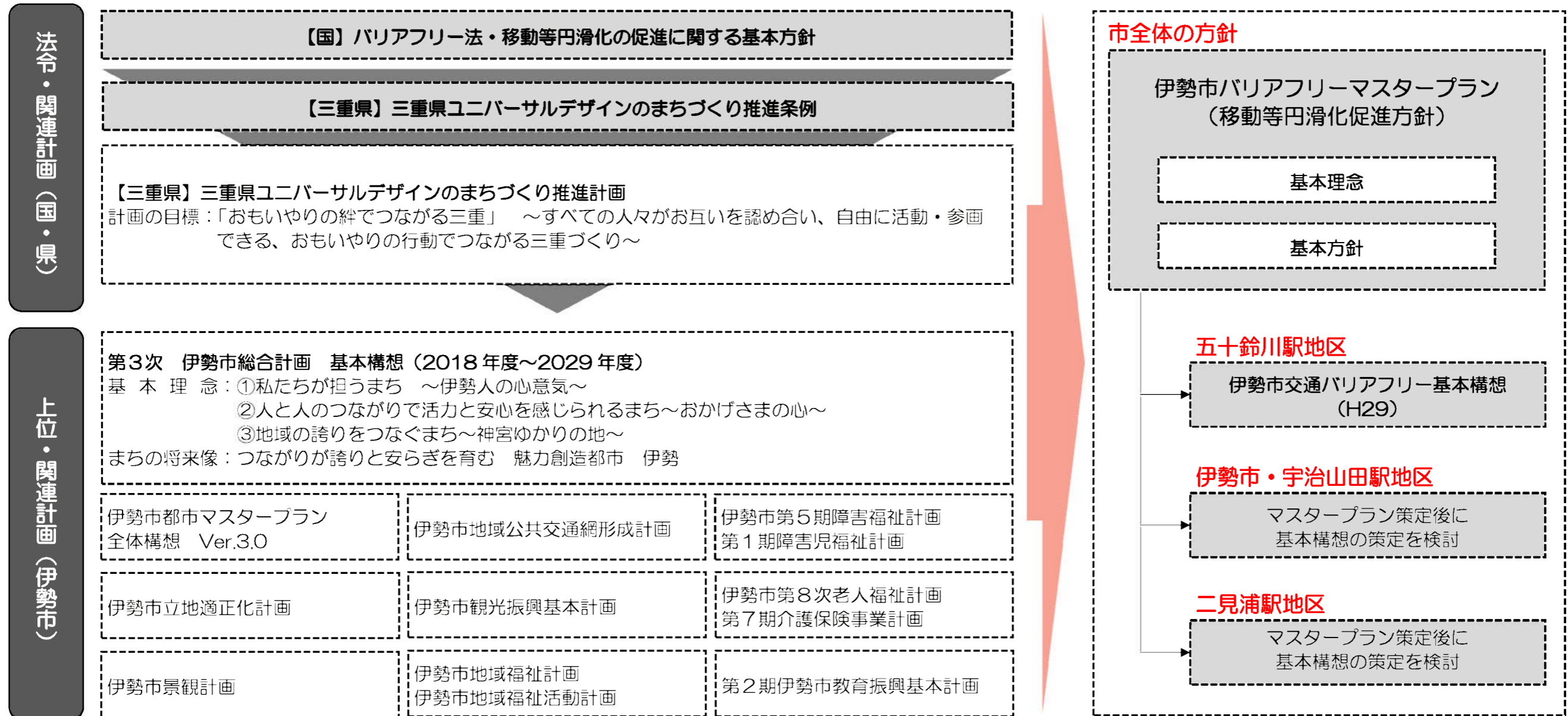


## 4. 伊勢市バリアフリーマスタープランの理念と目標

### (1) 計画の位置づけ

伊勢バリアフリーマスタープランは、本市のバリアフリーに関する全体的な計画を示すものであり、市としてのバリアフリーに関する方向性を位置づけるものです。そのため、本市の上位計画である伊勢市総合計画や、関連計画である伊勢市都市マスタープラン、伊勢市地域福祉計画、伊勢市観光振興基本計画の他、三重県の条例や関連計画とも整合を図ります。

また、平成 29 年に策定された「伊勢市交通バリアフリー基本構想」の基本理念や基本方針の考え方を踏まえ、市として包括的なバリアフリーの方向性を定めつつ、地域の特性の応じた事業を展開していきます。



## (2) 伊勢市のバリアフリーの課題整理

今までの現況整理や住民アンケート、関係者ヒアリング及び移動等円滑化促進候補地区の「伊勢市駅・宇治山田駅周辺」「二見浦駅周辺」におけるまち歩き現地確認の結果を踏まえて、本市におけるバリアフリーの課題を下記のように整理しました。

問題点			
現況整理	住民アンケート	事業者・関係団体ヒアリング	
<b>高齢化社会に向けた対応</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少社会</li> <li>・高齢化率の増加</li> <li>・障害者等手帳所持者の増加</li> </ul>	<b>施設のバリアフリー化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な外出の目的は買い物や通院、公共機関や銀行、郵便局、子育て施設への用事等</li> <li>・主な目的地の最寄り駅は伊勢市駅や宇治山田駅周辺</li> </ul>	<b>旅客施設などのバリアフリー化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の駅やバス車両はバリアフリー未対応</li> <li>・タクシー車両はバリアフリー未対応</li> <li>・整備費用や維持更新に関する費用の高騰</li> </ul>	<b>提供する情報の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい情報提供の充実</li> <li>・当初の予定（旅先、トイレ、駐車場など）がダメになった場合の代替案の提供</li> </ul>
<b>来訪者に向けた対応</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者は増加傾向</li> <li>・伊勢神宮の車イス利用者は増加</li> <li>・伊勢神宮周辺や河崎、二見浦地域に観光客が集中</li> </ul>	<b>通行空間の改良</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通路の幅員や道路の凹凸、段差</li> <li>・ベンチ等の休憩施設の有無</li> <li>・バス停やタクシー乗り場での屋根の有無</li> </ul>	<b>既存設備の改良</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に整備した箇所の補修や現行の法令基準への引き上げ改修</li> </ul>	<b>情報提供手段の確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・列車や駅構内、バス乗車中の情報提供</li> <li>・コミュニケーション手段の確保</li> <li>・緊急時の情報の入手方法</li> </ul>
<b>駅のバリアフリー化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢市駅、宇治山田駅で乗降客数が最多</li> <li>・明野駅、五十鈴川駅で1日あたりの平均乗降客数が2,000人以上</li> </ul>	<b>情報提供・周知活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーに関する情報提供</li> <li>・市などで実施しているバリアフリーに関する取組の周知</li> </ul>	<b>旅客施設や道路などのバリアフリー化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームと列車の間隙や駐車場からの経路</li> <li>・エレベーターやエスカレーターの有無</li> <li>・道路上の段差や凹凸、誘導用ブロックの有無</li> </ul>	<b>住民マナーの改善や向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道上の路上駐車、施設利用のマナー</li> <li>・気軽に相談できる環境</li> <li>・障がいに対する理解</li> </ul>
<b>バスのバリアフリー化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内宮前バス停、宇治山田駅前バス停、伊勢市駅前バス停などで1日あたりの平均乗降客数が1,000人以上</li> </ul>	<b>心のバリアフリーへの意識</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見た目で見えない障がいの理解や、移動時の手助け・声かけの必要性</li> <li>・バリアフリーの教育や意識向上</li> </ul>	<b>当事者視点に合わせた改良</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘導用ブロックでの誘導案内</li> <li>・道路の勾配や傾斜の改修、舗装の老朽化</li> <li>・障がいの種類に合わせた施設整備</li> </ul>	



### まち歩き現地確認

#### 旅客施設や道路などのバリアフリー化

- ・二見浦駅のバリアフリー未対応
- ・誘導用ブロックの整備や道路の凹凸、段差、エスコートゾーンの有無

#### 当事者視点に合わせた改良

- ・舗装や誘導用ブロックの劣化
- ・道路の傾斜や勾配
- ・歩行空間の明確化

#### 移動情報・観光情報の提供

- ・バス停の位置や二次交通の情報提供
- ・観光地までの経路情報
- ・バリアフリー対応に関する事前情報

#### 住民マナーの改善

- ・歩道上の路上駐車
- ・歩道上の店舗看板
- ・民家の車庫入口にある鉄板のスロープ

### 課題整理の視点

#### 伊勢市バリアフリー化の視点 (キーワード)

駅・施設の整備  
(新規整備)

経路の整備  
(新規整備)

改良  
(維持)

情報提供  
(ソフト)

意識づくり  
(ソフト)

### 伊勢市のバリアフリーの課題

#### 【ネットワークとして機能するバリアフリー経路の整備】

市内でも依然として施設やその施設に至るまでの経路でバリアフリーに対応していない箇所があります。

公共施設や駅舎など各拠点のバリアフリー化に加え、拠点同士を結ぶ経路などについてもバリアフリー化を行い、旅客施設や公共施設などを拠点とし、障がい者や高齢者、子育て世代の方など、誰もが行きたい場所へ安心して快適に移動できるバリアフリー空間の整備を進めて行く必要があります。

#### 【継続的なバリアフリー整備と改良促進】

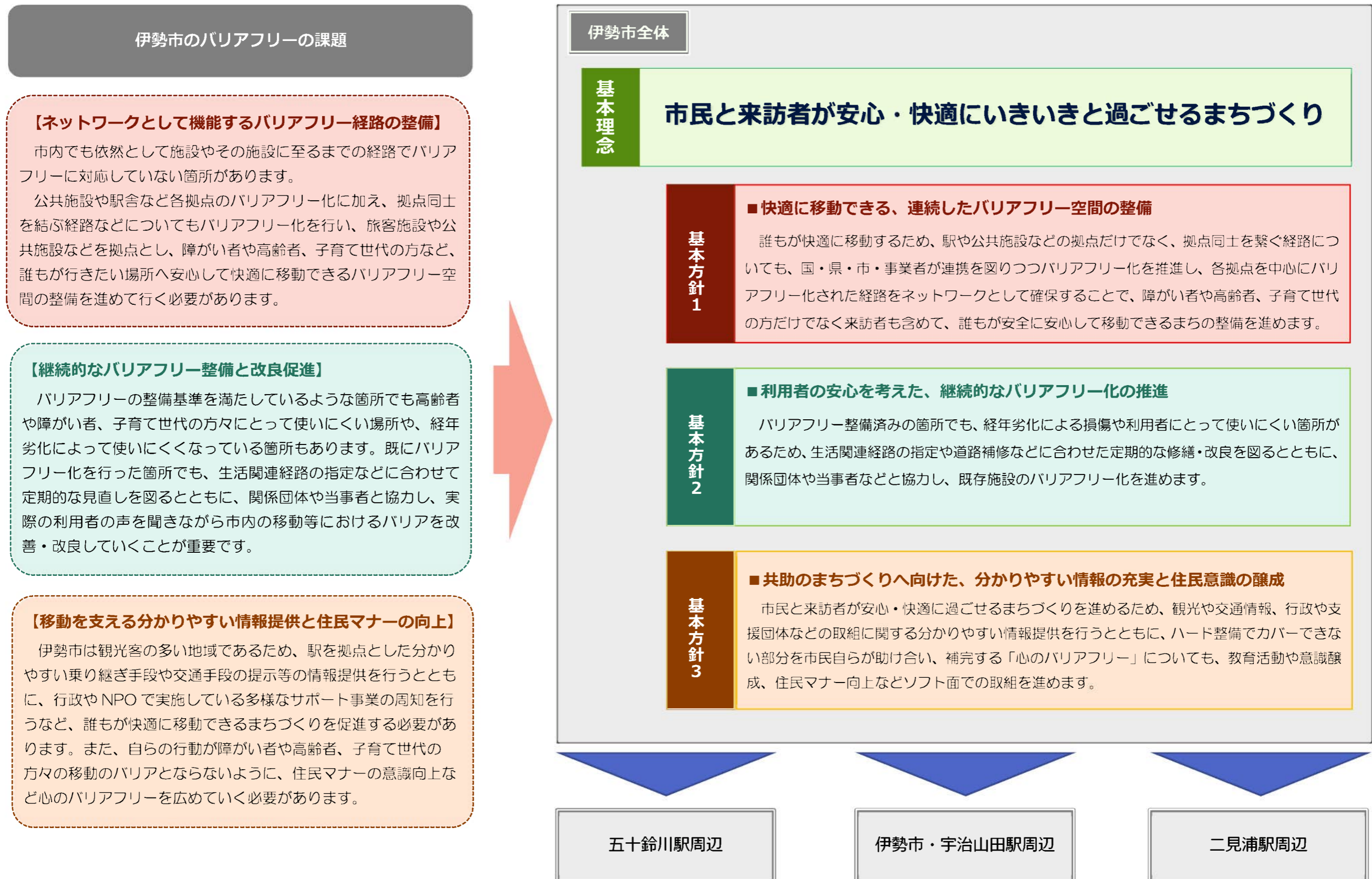
バリアフリーの整備基準を満たしているような箇所でも高齢者や障がい者、子育て世代の方々にとって使いにくい場所や、経年劣化によって使いにくくなっている箇所もあります。既にバリアフリー化を行った箇所でも、生活関連経路の指定などに合わせて定期的な見直しを図るとともに、関係団体や当事者と協力し、実際の利用者の声を聞きながら市内の移動等におけるバリアを改善・改良していくことが重要です。

#### 【移動を支える分かりやすい情報提供と住民マナーの向上】

伊勢市は観光客の多い地域であるため、駅を拠点とした分かりやすい乗り継ぎ手段や交通手段の提示等の情報提供を行うとともに、行政やNPOで実施している多様なサポート事業の周知を行うなど、誰もが快適に移動できるまちづくりを促進する必要があります。また、自らの行動が障がい者や高齢者、子育て世代の方々の移動のバリアとならないように、住民マナーの意識向上など心のバリアフリーを広めていく必要があります。

### (3) 基本理念と基本構想

「(2)伊勢市のバリアフリーの課題整理」を踏まえて、下記のように基本理念と基本方針を策定しました。なお、基本理念は、平成 29 年に策定された「伊勢市交通バリアフリー基本構想」の基本理念を踏襲し、市全体として一つの理念のもと、地域特性に合わせて細かいバリアフリー化を展開していく予定です。





## 1 交通バリアフリー基本構想とは

### ■策定の目的

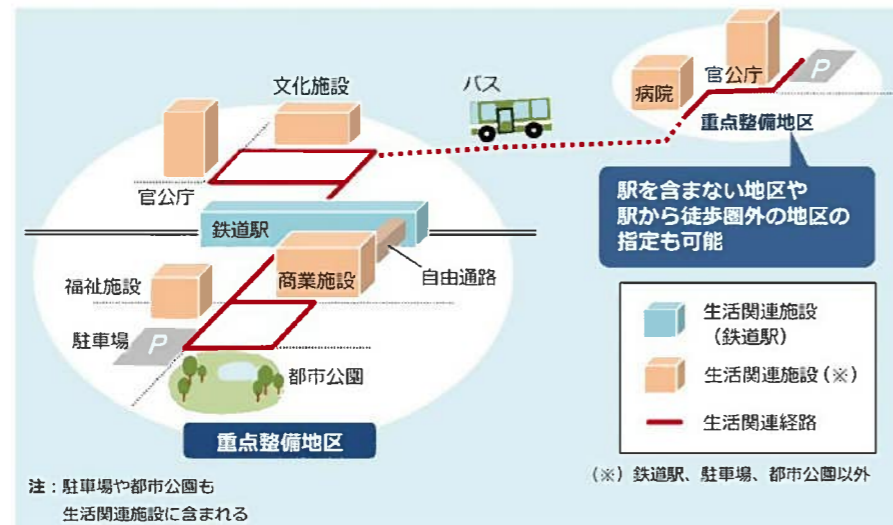
本基本構想は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下「バリアフリー法」という。）第25条に基づき、当市における効率的・効果的なバリアフリー化を進め、高齢者や障がい者等の移動や施設の利用における利便性・安全性・快適性を向上させることにより、高齢者や障がい者等の社会参加や、国内外からの来訪者との交流を促進することを目的として策定します。

### ■基本構想とは

交通バリアフリー基本構想とは、重点整備地区として設定した地区において、建築物や道路などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために、市町村が策定するものです。

バリアフリー法では、新施設等については移動円滑化基準への適合義務が課せられる仕組みとなっています。このため、基本構想において特定事業を位置づけることにより、基準適合義務が課せられない既存の施設等についてのバリアフリー化を進めることが期待されます。

#### ●基本構想において定める主な事項



<b>重点整備地区</b>	鉄道駅の周辺地区や、高齢者・障がい者が利用する生活関連施設（駅、福祉施設、店舗など）が集まった地区など、基本構想に基づいてバリアフリー化を進めていくエリア
<b>生活関連施設</b>	鉄道駅などの旅客施設、官公庁施設、福祉施設など、相当数の高齢者、障がい者等が利用する施設
<b>生活関連経路</b>	生活関連施設相互の経路（それらの間の移動は通常徒歩で行われること）
<b>特定事業その他移動円滑化のための事業</b>	生活関連施設、生活関連経路などのバリアフリー化を具体化するもの

## 2 理念と目標

### ■基本理念

市民と来訪者が安心・快適にいきいきと過ごせるまちづくり

### ■基本方針

#### 重点整備地区におけるバリアフリー化の促進

当市において、市民や来訪者による利用頻度が高い施設が集積しており、バリアフリー化の必要性が高いと考えられる地区を重点整備地区として設定し、高齢者や障がい者などあらゆる人が施設の利用や地区内の移動を安全かつ円滑に行えるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを採り入れた整備を進めます。

#### 当事者視点でのバリアフリー化の促進

バリアフリー化を実施する際には、使う人にとって本当に使いやすい施設・道路となるように、福祉団体や高齢者・障がい者団体などの協力を仰ぎつつ、当事者の視点に立った整備を促進するよう努めます。

#### 心のバリアフリーの促進

だれもが過ごしやすいまちをつくるためには、市民ひとりひとりがバリアフリー化の重要性や、高齢者や障がい者、妊産婦など、日常生活において配慮が必要な人々への理解を深め、行動につなげることが必要です。こうした「心のバリアフリー」を進めるため、バリアフリーに関する情報の発信や、市民等に対する啓発など、ソフト面での取組を進めます。

### ■目標年次：平成32年度

国が策定したバリアフリー法に基づく「移動円滑化の促進に関する基本方針」では、平成32年度を目標年次として移動円滑化実施の目標値を定めていることや、第76回国民体育大会（三重とこわか国体）および第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）の開催が平成33年に予定されていることなどから、本基本構想の目標年次を平成32年度とします。また、目標年次以降の事業等についても、事前に検討や調整を進める必要があるものについては、本基本構想に位置づけることとします。

### ■策定体制および策定の流れ

本基本構想の策定にあたり協議を行う場として、学識経験者、施設設置管理者、三重県公安委員会、高齢者・障がい者団体代表、商工・観光関係団体代表、地元住民代表、国土交通省、三重県、伊勢市で構成する「伊勢市交通バリアフリー基本構想策定協議会」を設置しました。（右図参照）

